

特集

# 丹波並木道 中央公園が 10月14日に開園



緑豊かな山地に囲まれた「丹波並木道中央公園」



明治初期の庄屋宅(大山新地区)が移築された「かやぶき民家」。市民参加型プログラムの活動拠点となっています



間伐が進む森の様子



園内の間伐材を活用するために建設された「森林活動センター」。現在、看板やベンチなどを製作中です



赤米や黒豆の栽培が行われている棚田

## 森の魅力を生かした公園

丹波地域では、地域の特性を生かしながら「人と自然と文化が調和した地域づくり」を目指す「丹波の森構想」が進められています。そのような中、10月の開園に向けて、篠山市の大山下・西古佐地区に建設されているのが「兵庫県立丹波並木道中央公園」です。

この公園は、「丹波の森構想」でシボルに基本構想、平成3年に基本計画が策定されました。平成13年には、学識経験者や地域の皆さんなどの参画を得て、計画協議会を設立。自然との共生を目指し、計画の見直しが行われました。

また、平成15年からは、棚田で赤米や黒豆の栽培を体験する「棚田プログラム」や、「灰屋」を製作して活用する「灰屋づくりプログラム」、間伐の体験を行う「森づくりプログラム」など、市民参加型の体験プログラム

を実施。地域の皆さんの手で森の魅力を生かした公園づくりが進められてきました。そして、構想から18年を経て、10月14日にいよいよオープンを迎えることになりました。

## さあ、出かけよう

「丹波並木道中央公園」へ  
三ヶ山(みしかやま)のふもとに整備された公園は70.9ヘクタール(約50ヘクタール)あり、甲子園球場の約18倍の広さがあります。この広大な敷地には、大山小学校の児童たち手作りの「ビオトープ」(野生生物の生息空間)や、「かぶと虫の森」、散策道・展望台などが整備。自然観察や環境学習など、自然とふれあう場が準備されています。

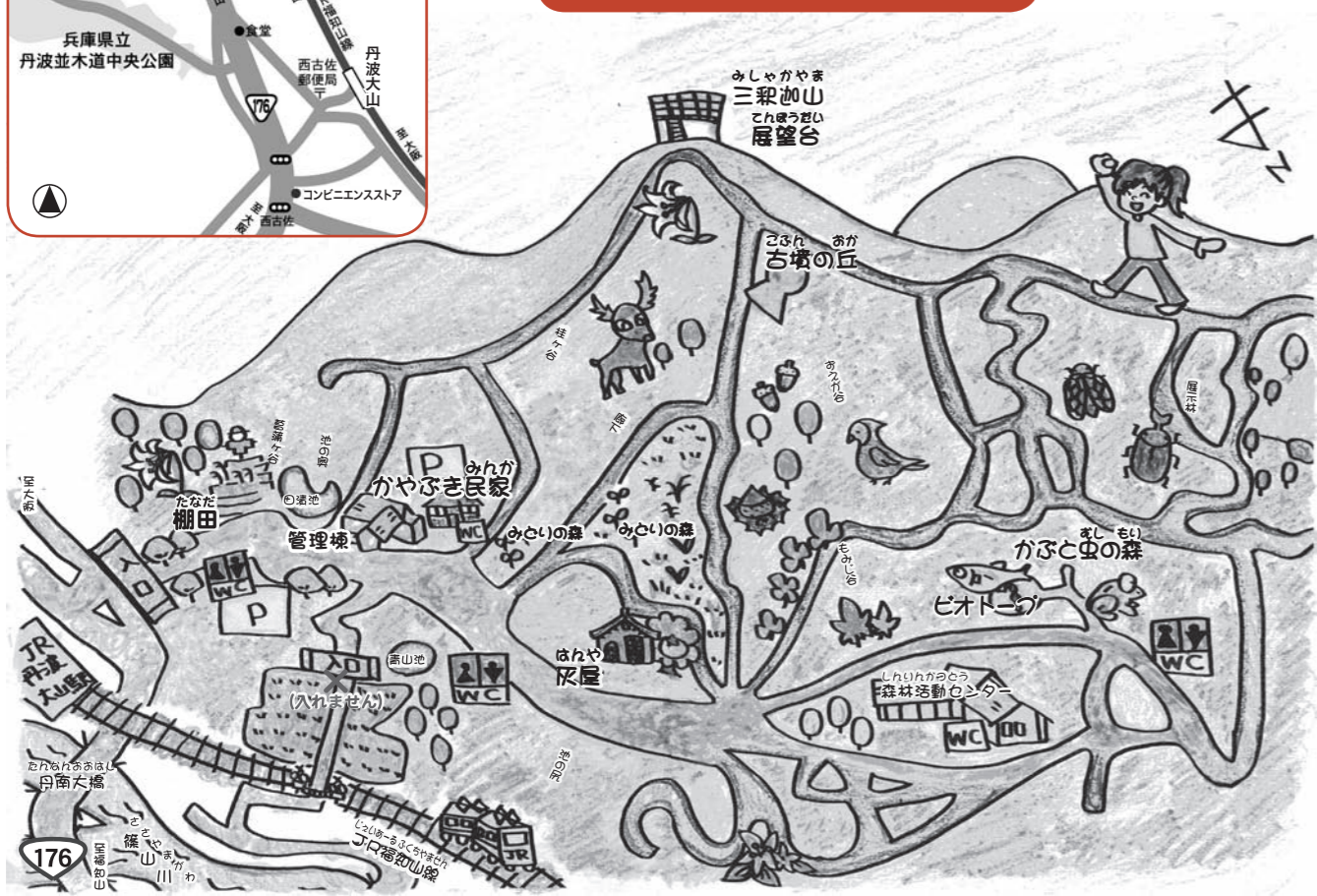
また、園内には木造平屋建ての「かやぶき民家」や、製材所と木工施設を併設した「森林活動センター」が建設されたほか、景観の中心に丹波地域らしい原風景を創造した「灰屋」や「棚田」も配置。森での人間の営みが体験できる場にもなっています。

とにかく、この公園は敷地の約70%が森林で、緑豊かな山地に囲まれています。さらに、さまざまな動植物に気軽にふれあえ、1年を通じて四季それぞれの楽しみが味わえます。皆さんも、公園づくりに参加されてはいかがでしょうか。

問い合わせ 兵庫県丹波県民局 柏原土木事務所 公園ダム課  
0795・73・3850



## 丹波並木道中央公園案内図





## 出かけよう! 丹波並木道 中央公園へ

# Let's Go!

### 兵庫県立丹波並木道中央公園・オープニングイベント

**と き** 10月14日(日) 10:30~15:30

**内 容**

- 記念式典
- 森を知る
  - ・森のクイズラリー
  - ・大山小学校の児童たちによる環境学習発表会&ピオトープ観察会
  - ・森の匠による「森林活動センター」の活動紹介
- 丹波を味わう
  - ・灰屋での大焼き物大会
  - ・赤米や黒枝豆のふるまい
- 森のマーチングパレード
  - 出場予定チーム=関西学院大学吹奏楽部
- 森のコンサート
  - 出場予定チーム=丹南中学校吹奏学部、篠山鳳鳴高等学校吹奏楽部、ナチュラル(コーラスグループ)、ブルーマウンテントラブルメーカー(米国ワラワラ市)、丹南音頭保存会

**問い合わせ** 兵庫県丹波県民局柏原土木事務所 公園ダム課  
☎0795-73-3850

### 丹波の森国際音楽祭 シューベルティアードたんば2007 丹南街角コンサート

**と き** 10月20日(土) 13:30~15:30

**料 金** 555円 ※高校生以下無料

**問い合わせ**  
丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば実行委員会事務局(財)兵庫県丹波の森協会丹波の森公苑文化振興部内) ☎0795-72-5170



### 第7回「ひょうごフローラフェスタ」美しい森に息吹く花・緑のフェスタ

「ひょうごフローラフェスタ」は、地域の皆さんの緑化活動を支援し、花と緑のまちづくりを推進する催しです。暮らしに鮮やかな彩りを添えてくれるすてきな花と緑の祭典をどうぞ、お楽しみください。



**開催期間** 10月20日(土)・21日(日) 10:00~16:00  
※ガーデン展示期間:10月14日(日)~28日(日)

**内 容**

- ガーデン展示
  - ・ガーデンコンテスト(花壇・ハンギングバスケット・コンテナガーデン部門)
  - ※ガーデンコンテストに参加される方は、自治会を通じて各世帯に配布しています募集要項をご覧ください。
  - ・モデルガーデン(県内の園芸・造園関連団体

**問い合わせ**

などによるガーデンを展示)

- ・スクールガーデン(県内の高等学校の生徒によるガーデンを展示)
- イベント
  - ステージイベント/園芸教室/オープンガーデンツアー/親子クラインガルテン遊び(親子が自由にガーデニングなどを体験)/ウォークラリー
- 飲食・物販
  - 丹波の森の食コーナー/美しき森のカフェ/花苗販売/植木市
- その他
  - ・会場内をかわいいフォレストトレイン(森の列車)が運行します
  - ・各日先着200人に花苗などをプレゼント

**問い合わせ** 第7回ひょうごフローラフェスタ事務局(兵庫県公園緑地課内) ☎078-362-3549 / 篠山市役所建設部建設課 ☎552-4585

インタビュー

## 公園の開園に向けて



大山下自治会長  
ながざわ よしあき  
長澤義明さん

### 地域に合った活動で 公園をふれあいの場に

大山下地区が、公園づくりにかわらね今年で5年目となります。園内の森を探索されたり、チエーンソーアートでの作品づくりや丸太切り体験を行われたりするなど、体験プログラム「キコリンピック」に積極的に取り組んでこられました。

また、今年の3月には、大山小学校区の交流イベント「三世代ふれあい交流まつり」を園内で初開催。約250人の皆さんが楽しい時間を満喫されました。同自治会長の長澤義明さんは、「多くの皆さんの協力や参加のもと、地域に合った活動を展

開してきました。今後も、グラウンドゴルフ大会の開催や、野鳥の愛護など、公園を地域のふれあいの場として活用していきたい」と話されます。

ところで、公園では「森林活動センター」の稼働に向け、オープン後のスタッフやアドバイザーの養成が進められています。長澤自治会長は、「このプロジェクトには地元の皆さんも多数参加されていますので、将来的には公園の森づくりに一役を担い、地域の活性化に協力できればうれいですね」と期待を込めて話されています。

丹波並木道中央公園の敷地に立地している西古佐地区。同自治会では平成16年度から、園内にある4枚の棚田で、赤米や黒豆などの栽培を行う体験プログラムに取り組み、公園づくりに参画されてきました。

赤米の田植えや黒豆の定植に始まり土寄せ・稲木づくり、カシづくり、収穫など、年に約5回の体験プログラムを参加者の皆さんとともにを行い、交流を深められています。同自治会長の河南信行さんは、「農業の使用を控えるなどの自然環境に配慮した栽培や、公園の景観を損

なわないよう管理に努めています」とその苦労を話されます。

さて、間もなく開園を迎える同公園。河南自治会長は公園とのかかわりを振り返りながら、「公園の基本構想が策定されて以来、18年の歳月が流れました。それだけに、開園という私の長年の夢がかない、とてもうれしく思います」とこころ。

最後に、「公園の管理は、兵庫県から指定管理業者へと移りますが、今後もみんなでつくる公園づくりに参画し、地域の活性化を目指したいですね」と力強く話されています。

### 公園づくりに参画し 地域活性化を目指す



西古佐自治会長  
かん なんのぶゆき  
河南信行さん



森の円卓会議メンバー  
はしもと いさお  
橋本 功さん

### 「森林活動センター」で 森林を身近に感じよう

公園の整備や運営にかかわられている方たちが集まり、公園づくりの検討や調整などを行う場として設置された「森の円卓会議」。そのメンバーとして活躍されている橋本功さんは、「開園を迎えても、地元の皆さんには公園をつくり育てていくという思いを、いつまでも忘れず、もち続けてほしいですね」と話されます。

長年、林産業に携わってこられた経験から、放置されていた園内の森を3つのゾーン(生産・混合・広葉樹林ゾーン)に分けて整備されました。現在は、「森林活動センター」において園内で使用する作業機や椅子の製作に取り組みされている橋本さん。「来園者の皆さんには、この施設を利用して、人と森林とのかかわりを少しでも身近に感じ、親しんでもらえれば」と熱い思いを話されています。